

## 令和3年度事業報告書

### 1】全体総括

昨年度に続き、令和3年度においても、新型コロナウイルスの感染拡大はその収束が見えず、京都府でも今年度当初から、まん延等重点措置を含め緊急事態措置が継続する状況にありました。これにより、本法人の各事業所についても、引き続き徹底した感染防止対策をとりながらの運営となりました。

令和4年2月に初めて、グループホームの利用者1名の感染が確認されましたが、濃厚接触者は確認されず、他の利用者への感染拡大も見られませんでした。

しかしながら、地域で感染者が増加することで、職員や利用者が濃厚接触者となり、職員が出勤できない状況や、利用者の通所自粛などが相次ぐなど、昨年にも増して、感染対応に追われた1年となりました。

感染した利用者の隔離措置や介助などはもとより、日々の支援において、感染リスクを抱えながらの業務、また職員の出勤停止によるシフトの変更など、職員にとっては、精神的にも肉体的にも、負担が増えた一年となりました。

一方、財政的な面では、濃厚接触者となった利用者の通所自粛、感染者の発生による通所事業所の一部閉所などもあり、サービス収益については、昨年度からは減収となりましたが、単年度収支では黒字決算となりました。

しかし、就労支援事業収益については、うどん店の集客数の減少、下請け作業の減少、自主商品の材料費の高騰など、少なからずコロナ禍の影響を受けましたが、昨年度に比べると増益となりました。

### 2】基本方針の総括

#### (1) 第1期中期計画について

2019年度から3年間の計画とした「第1期中期計画」の総括の年と位置付け、①法人理念の再確認とその深化を目指す②事業所風土の醸成③職員個々の成長の三点を重点課題として取り組みを進めました。

これらの課題に対して、各事業部署、職員各自が具体的な目標を定め、それぞれが達成に

向けて取り組みを進め、その進捗と成果については、5月と12月に、職員個々のヒアリングで確認し、人事評価に反映しました。

第1期中期計画の3年間は、コロナ禍という状況のなか、十分な取り組みが難しい面もありましたが、課題にむけて目標を達成しようとする意識が芽生え、職員各自が自己のキャリアパスを明確にとらえることができつつあると考えています。

第1期中期計画の重点課題については、今後も法人全体の目標と捉え、引き続き意識しながら取り組みを進めていきたいと考えています。

## (2) 第2期中期計画への準備について

来年度からの第2期中期計画に掲げる「就労支援事業の拡大」「生活介護事業の拡大と高齢化・重度化対策」にむけて、今年度1年間を通してその準備を進めることを目標として取り組みました。今年度の事業計画で目標とした取り組みについては以下の通りです。

### 1. 就労支援事業施設の新設のための施設整備計画及び資金計画

施設用地を検討するなかで、地主さんからの申し出により、施設を整備したうえで、土地建物の賃貸借契約を締結することとなりました。当初の計画であった、借入を伴う施設整備については変更となりましたが、就労支援事業所を確保することについては達成することができました。

### 2. 通所事業所の定員増に伴う職員の増員

通所事業所の利用者の増加を見込み、利用定員の変更とそれに伴う職員の増員を予定していましたが、コロナ禍の影響や、長期入院の利用者がおられたことで、全体で実利用者数が減少したため、定員増とそれに伴う職員増の必要性がなくなりました。

### 3. 重度化、高齢化への対応のための体制づくり

生活介護事業の利用者の日中活動については、これまで作業活動を中心としたプログラムを一律に提供してきました。

しかしながら、年齢の格差、障害特性の多様化などが年々顕著になってきたことから、一律の支援内容では対応が難しくなってきた状況が生じていました。

そこで、今年度から、年齢や障害特性に合わせ、これまでの3グループから4グループに再編成を行い、それぞれのグループに応じた日中活動を提供できるよう体制を整えると同時に、職員の専門性を高めるための研修、事例検討などを実施しました。

### 3]各事業の総括

#### (1) 法人本部

##### 1. 理事会・評議員会の開催

昨年度に続き、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、理事会、評議員会ともに決議の省略という形で実施し、対面での会議を自粛することとなりました。

理事会・評議員会の決議内容及び、監事監査の状況は以下の通りです。

##### 【監事監査の状況】

監事監査の実施日：令和4年5月13日午前10時30分～11時30分

実施場所：障害福祉サービスセンター 応接室

監査した監事の氏名 監事 青木 良平

立会人 理事長 中村 祐子

立会人 事務主任 森本 忠司

監事監査の実施日：令和4年5月18日午前10時30分～11時30分

実施場所：障害福祉サービスセンター 応接室

監査した監事の氏名 監事 山田 亮太

立会人 理事長 中村 祐子

立会人 事務主任 森本 忠司

##### 【理事会・評議員会の状況】

##### 《第1回理事会》

ア期日：令和3年5月21日 決議の省略

イ議決事項：令和2年度事業報告の件

令和2年度決算の件

評議員選任解任委員の選任の件

評議員・役員（理事・監事）選任の件

定時評議員会の議案及び開催日時

##### 《第1回定時評議員会》

ア期日：令和3年6月15日 決議の省略

イ議決事項：令和2年度事業報告の件

令和2年度決算及び監査報告書の件  
理事・監事選任の件

《第2回理事会》

ア期日：令和3年6月16日 決議の省略  
イ議決事項：理事長・業務執行理事の選任の件

《第3回理事会》

ア期日：令和3年10月9日  
イ報告事項：理事長及び業務執行理事の職務状況の報告

《第4回理事会》

ア期日：令和4年3月21日 決議の省略  
イ議決事項：令和3年度補正予算の件  
令和4年度予算の件  
令和4年度事業計画の件  
定時評議員会の開催の件

## 2. 経理・財務管理

社会福祉法人新会計基準に基づく経理を実施し、公認会計士による経理処理のチェックの毎月の実施と、月次報告書の作成と理事長への報告を遅滞なく実施しました。  
また、事業ごとの収支及び法人全体の収支状況の把握を行い、各事業の計画的な運営の進行管理に努めました。

## 3. 人事労務

人事労務管理については、コンプライアンスの遵守とガバナンスの強化を基本に、職員のシフト管理と勤怠管理の徹底に努めました。  
また、労務関係の届出書についても、社労士の監修のもと、適正に処理を行いました。

### 【今年度の退職者及び新規採用者】

#### 《新規採用者》

職種	性別	日付
生活支援員	男	令和4年3月1日

#### 《退職者》

職種	性別	日付
生活支援員	女	令和4年3月末日
事務職員	男	令和4年3月末日

## 4. 福利厚生

職員の健康管理及び福利厚生のため、生活習慣病健診（政府管掌）を全職員対象に実施しました。職員のリスクマネジメントとして、業務災害、傷害保険、損害賠償保険の更新手続きを行いました。

## 4. 施設管理

昨年度から懸案事項となっている、通所事業所の空調設備の老朽化に伴う全面入れ替えについて、メーカーの現状調査や、工事費用の見積もり徴取などを継続して実施し、さらなる検討を行いました。現在のところ入れ替えについての具体的な方策は決まっていません。

### （２）生活介護・就労継続支援 B 型多機能型事業

◇事業所名称：障害福祉サービスセンター「うじたわら」

#### 1. 主な事業の内容

生活介護事業では、障害特性ごとに、以下のように4つのグループに再編成を行いました。

グループ名	障害特性	主な支援目標
りんくる班1	高齢・重複障害（身体・知的）	身体機能の維持、向上を図る
りんくる班2	重度知的障害	作業ができる基礎的な力を身につける
りーふ班	自閉症スペクトラム	作業への集中力を身につける
れっつ班	中軽度知的障害	作業能力の向上を図る

各々のグループでは、支援内容やプログラムなどの検討を重ね、試行錯誤を繰り返しながらの支援となった1年でした。

就労継続支援 B 型サービスでは、農作物の栽培と販売、飲食店（うどん店）の経営、食品加工と販売など、収益増を目指すとともに、利用者が主体的に作業活動ができるようになることを目標に支援を行いました。

新型コロナの影響もあり、就労事業全体の収益は当初の予算には届きませんでした。昨年度に比べると収益増となり、平均工賃 45,000 円/一人を達成することができました。

## 2. 利用者の状況

(生活介護) 定員 26 名 ※数字は実利用者 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
区分 6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	6
区分 5	15	15	15	15	15	15	14	14	14	14	14	14
区分 4	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11
合 計	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	30	31

(就労継続支援) 定員 14 名 ※数字は実利用者数 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
区分 4	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8
区分 3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
区分 2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
非該当	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合 計	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17

### (3) 放課後等デイサービス・児童発達支援事業

◇事業所名称：児童デイサービスにじいろ

#### 1. 主な事業の内容

利用者数は、昨年度に比べて大きな増減はありませんでした。

開所から数年たち、開所当初から利用している児童と新たに利用を開始する児童との年齢差の幅が大きくなっているのが特徴といえます。

年齢の高い子が、小さい子の世話をするという場面も見られ、年齢差が大きくなることが良い影響となっています。

#### 2. 利用者の状況

《放課後等デイサービス》

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
のべ利用者数	202	172	200	197	187	194	210	205	209	176	142	212
開所日数	22	21	22	22	22	22	21	22	23	21	20	23
平均利用者数 (一日あたり)	8.8	8.2	9	8.9	8.5	8.8	10	9.3	9.1	8.4	7.1	9.2

## (4) 共同生活援助

◇事業所名称：ケアホームむくの家・ケアホームさくらの家・グループホームくるみの家

### 1. 主な事業の内容

新型コロナウイルスの感染対策として、食事、入浴など、日常生活全般にわたって制約の多い生活状況となりました。

また、外出の機会や、みんなで集まるような行事等の自粛などで、利用者にはストレスの多い1年となりました。

令和4年の2月に、利用者1名がコロナ陽性となり、施設内で隔離となりましたが、症状は軽く、他の利用者への感染拡大はありませんでした

今年度は、高齢の入居者の方の長期入院が目立った1年でもありました。

療養の甲斐なく、男性利用者が1名お亡くなりになるという、悲しい出来事もありました。今後は、高齢の利用者への支援の充実が課題となってくると考えられます。

### 2. 利用者の状況

(むくの家) 定員 10 名 (男性) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
区分5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
区分6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3
合計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9

(さくらの家) 定員 5 名 (女性) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
区分4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
区分5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

(くるみの家) 定員6名(男女)

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
区分3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
区分4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
区分6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

#### (4) 短期入所

◇事業所名称：ショートステイむくの家・ショートステイくるみの家

##### 1. 主な事業の内容

新型コロナウイルスの感染防止の観点から、外部からの利用を制限したこともあり、延べ利用者数は昨年度に比べて減少しました。

法人の通所事業の利用者については、自立訓練としての利用を促進することを目標にしていましたが、こちらも感染防止を優先し、必要最小限の利用にとどまりました。

##### 2. 利用の状況

《ショートステイくるみの家》2室

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
のべ利用者数	17	24	26	33	25	27	21	27	26	30	23	23
開所日数	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124
稼働率(%)	14	17	22	27	20	23	17	23	21	24	21	19

《ショートステイむくの家》2室

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
のべ利用者数	87	82	71	73	62	65	74	66	70	61	52	81
開所日数	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124
稼働率(%)	75	66	59	59	50	54	60	55	56	49	46	65



## (6) 居宅支援事業

◇事業所名称：らぼらいふ

### 1. 主な事業の内容

家事援助・外出支援（行動援護）ともに、コロナの感染対策を行いながらの支援となりました。

特に、外出支援では、感染防止のため、車や公共の交通機関の利用を避ける、行き先も人の多いところは避けるなど、大きな制約を受けながらの支援とならざるを得ませんでした。

### 2. 利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
家事援助（回）	45	42	48	51	39	52	46	47	44	42	30	45
実利用者(人)	14	14	15	13	13	13	13	13	13	13	11	11
行動援護(回)	36	34	28	33	30	34	54	53	54	44	45	49
実利用者(人)	7	6	6	7	8	8	10	10	10	10	10	10

## 6) 相談支援事業

◇事業所名称：サポートことのは

### 1. 主な事業の内容

昨年度と比べて、相談件数はおおむね変わらず推移しました。

昨年度立ち上がった、自立支援協議会において、宇治田原町と協力しながら、協議会の全体会と精神部会の会議の開催を実施することができました。

### 2. 利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計画作成件数	3	2	30	3	4	9	7	6	3	1	6	16
モニタリング件数	17	9	32	6	11	20	15	10	30	6	12	19
合計	20	11	62	9	15	29	22	16	33	7	18	35

## 7) 公益事業

◇事業所名称：日中一時支援サービス・らぼらいふ移動支援

### 1. 主な事業の内容

日中一時サービスについては、主に月に一度土曜日に児童の受け入れを行ってきましたが利用者数は年間を通して、月に2名～3名にとどまりました。

移動支援については、居宅支援事業所「らぼらいふ」がサービス提供を行いました。移動支援については、ニーズも多く、散歩や近くへの買い物の同行などの支援が大半となりました。

### 2. 利用の状況

	月 市町	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	日中一時	宇治田原町	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
移動支援	宇治田原町	8	6	5	5	8	5	8	9	6	7	5	6
	城陽市	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	2
	宇治市	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2
	井手町	1	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0

## 8) 年間行事

今年度は、法人の事業所主催の行事、地域の行事ともに、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、多人数で集まるような行事はすべて中止となりました。

感染状況の推移をみながら、夏季休暇と年末に、班ごとに少人数での茶話会や、お楽しみ会などを実施するにとどめました。

注記 事業報告の附属明細書についてはこの事業報告と一体的に作成しています